

平成18年度 決算状況				人 口	17年国調 12年国調 増減率	796,292人 813,949人 -2.2%	都道府県名 39 高知県						
				住民基本 台帳人口	19.3.31 18.3.31 増減率	792,419人 799,121人 -0.8%	面積 (km ²) 人口密度 (人)	7,105 112		区 分 平成18年度(千円) 平成17年度(千円)			
歳入の状況 (単位:千円%)						道府県税の状況 (単位:千円%)							
区 分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区 分	収入済額	構成比	超過課税分					
地方譲与税	66,801,212	15.2	56,251,692	23.0	普通税	58,871,083	88.1	457,423					
地方譲与税	16,273,041	3.7	16,273,041	6.6	法定普通税	58,871,083	88.1	457,423					
所得譲与税	13,460,136	3.1	13,460,136	5.5	道府県民税	15,312,749	22.9	457,423					
地方道路譲与税	2,622,583	0.6	2,622,583	1.1	個人均等制	507,640	0.8	169,213					
特別とん譲与税	-	-	-	-	所得割	10,267,831	15.4	-					
石油ガス譲与税	184,521	0.0	184,521	0.1	法人均等制	842,812	1.3	7,099					
航空機燃料譲与税	5,801	0.0	5,801	0.0	法人税	2,152,362	3.2	281,111					
市町村たばこ税都道府県交付金	-	-	-	-	利子割	725,095	1.1	-					
地方特例交付金	387,965	0.1	387,965	0.2	配当割	440,668	0.7	-					
減税補てん特例交付金	166,934	0.0	166,934	0.1	株式等譲渡所得割	376,341	0.6	-					
児童手当特例交付金	221,031	0.1	221,031	0.1	事業税	15,041,126	22.5	-					
地方交付税	171,096,147	38.9	168,599,892	68.9	個人分	852,988	1.3	-					
普通交付税	168,599,892	38.4	168,599,892	68.9	法人分	14,188,138	21.2	-					
特別交付税	2,496,255	0.6	-	-	地方消費税	15,468,746	23.2	-					
(一般財源計)	254,558,365	57.9	241,512,590	98.6	不動産取得税	1,866,425	2.8	-					
交通安全対策特別交付金	326,693	0.1	326,693	0.1	道府県たばこ税	1,675,827	2.5	-					
分担金・負担金	3,937,983	0.9	-	-	ゴルフ場利用税	290,801	0.4	-					
使用料	4,968,008	1.1	1,540,914	0.6	自動車税	9,205,765	13.8	-					
手数料	1,456,269	0.3	-	-	鉱区税	9,644	0.0	-					
国庫支出金	66,424,231	15.1	-	-	固定資産税特例	-	-	-					
国有提供交付金	-	-	-	-	法定外普通税	-	-	-					
財産収入	6,536,837	1.5	285,506	0.1	目的	7,929,123	11.9	-					
寄附金	29,341	0.0	-	-	法定目的税	7,929,123	11.9	-					
繰越金	1,580,427	0.4	-	-	自動車取得税	1,911,748	2.9	-					
繰越金	8,290,469	1.9	-	-	軽油引取税	5,945,490	8.9	-					
諸地方債	28,219,728	6.4	1,171,882	0.5	狩猟税	71,885	0.1	-					
うち減税補てん債	63,161,250	14.4	-	-	法定外目的税	-	-	-					
うち臨時財政対策債	453,800	0.1	-	-	旧法による	1,006	0.0	-					
うち臨時財政対策債	22,009,600	5.0	-	-	旧法による	1,006	0.0	-					
歳入合計	439,489,601	100.0	244,837,585	100.0	合計	66,801,212	100.0	457,423					
性質別歳出の状況 (単位:千円%)						目的別歳出の状況 (単位:千円%)							
区 分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	区 分	決算額 A	構成比	Aのうち普通建設事業費	Aの充当一般財源等			
義務的経費計	230,123,333	53.3	200,475,110	199,164,765	74.5	会議費	1,079,960	0.3	1,389	1,079,789			
人件費	136,360,996	31.6	115,117,369	113,807,024	42.6	総務費	27,605,854	6.4	2,758,626	24,307,622			
うち職員給与	100,892,690	23.4	83,134,730	83,134,730	31.1	民生費	48,098,628	11.1	2,180,894	37,197,802			
扶助費	9,892,515	2.3	4,037,195	4,037,195	1.5	衛生費	14,419,576	3.3	377,929	10,741,337			
公債	83,869,822	19.4	81,320,546	81,320,546	30.4	労働費	785,383	0.2	2,292	632,714			
内訳	元利償還金	83,849,679	19.4	81,300,403	81,300,403	30.4	農林水産業費	38,388,953	8.9	22,404,845	15,420,447		
その他	一時借入金	20,143	0.0	20,143	0.0	商工費	7,714,306	1.8	694,165	7,213,665			
その他	経費	112,726,633	26.1	84,541,123	61,224,754	22.9	土木費	73,001,310	16.9	50,110,756	20,273,274		
その他	経費	14,738,908	3.4	11,182,564	10,604,223	4.0	警衛費	22,511,874	5.2	690,979	19,577,658		
維持補修費	4,644,509	1.1	4,256,180	4,256,180	1.6	消防費	-	-	-	-			
補助費	65,873,555	15.3	61,012,711	45,475,048	17.0	教育費	96,210,768	22.3	1,719,169	75,274,086			
繰出金	654,441	0.2	654,441	-	-	災害復旧費	8,002,322	1.9	-	60,238			
積立金	7,861,026	1.8	5,451,900	-	-	公債費	83,882,301	19.4	-	81,333,025			
投資及び出資金	858,602	0.2	20,602	-	-	諸支出金	-	-	-	-			
貸付金	18,095,592	4.2	1,962,725	889,303	0.3	前年度繰上充用金	-	-	-	-			
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	利子割交付金	379,715	0.1	-	379,715			
投資的経費計	88,943,366	20.6	18,187,521	-	-	配当割交付金	273,863	0.1	-	273,863			
うち人件費	2,082,679	0.5	385,897	-	-	株式等譲渡所得交付金	237,974	0.1	-	237,974			
普通建設事業費	80,941,044	18.7	18,127,283	260,389,519千円	-	地方消費税交付金	7,739,547	1.8	-	7,739,547			
うち補助	42,593,520	9.9	834,374	-	-	ゴルフ場利用税交付金	203,124	0.0	-	203,124			
うち単独	24,306,258	5.6	14,689,605	-	-	特別地方消費税交付金	134	0.0	-	134			
災害復旧事業費	8,002,322	1.9	60,238	-	-	自動車取得税交付金	1,257,740	0.3	-	1,257,740			
失業対策事業費	-	-	-	-	-	軽油引取税交付金	-	-	-	-			
歳入一般財源等	-	-	-	-	-	特別区財政調整交付金	-	-	-	-			
歳入一般財源等	-	-	-	-	-	特別区財政調整交付金	-	-	-	-			
歳出合計	431,793,332	100.0	303,203,754	308,619,965千円	-	歳出合計	431,793,332	100.0	80,941,044	303,203,754			

(注) 1. 地方消費税は、精算を計上している。
2. 経常収支比率の算定上、経常一般財源等については地方税から、経常経費充当一般財源等については補助費等から、利子割交付金等市町村への各種交付金を控除した。また、経常収支比率の()内の数値は減税補てん債及び臨時財政対策債を除いて算出したものである。
3. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。